

図書館ボランティアだより 第24号

2016年2月 阪南市立図書館サポーター・ブックファン広報部会発行

新
きずな

センリョウ

目次

自由＊空間	「釣り」と私	-----	P2
ご存知ですか	「ネットオークションを有効に活用しよう」	-----	P2
私のおすすめ	『頭の大きなロボット』	-----	P3
	『ツアラトウストラはこう言った』	-----	P3
図書館からのお知らせ	-----		

“男里川水系環境委員会”を知ってね！

「男里川水系？」男里川水系は阪南市域の東側を流れる川で、上流は和歌山県から井関川・山中川・金熊寺川の支川が下流部で合流し男里川となり大阪湾に注いでいます。

「何をやる会？」地域の宝物「自然豊かな男里川水系を子どもたちに引き継ぐ」を合言葉に①川の清掃活動②親子の水生物観察会③環境啓発ポスター募集④小学校の水辺の学校⑤市民の皆さんの水系一斉清掃活動をしているボランティア団体です。

「如何にしてきたの？」環境活動をしている（和泉の水を育む会）（男里川を守る会）（自然と本の会）が男里川全体の環境保全活動の発展の為に三年前に作り「阪南市市民協働事業認定」も受けて活動しています。

「何時・何所で何をしているの？」①毎月第四日曜日の九時～十時頃まで（雨

天中止）男里川河口干潟と海岸部の清掃活動をしています。（大阪府アドプトサイード協定活動）興味のある方は見に来て下さい。②夏休みの親子を対象に魚・昆虫などを採捕し解説等の観察会を菟砥橋（うどばし）ですしています。③夏休みに市内の小中高生を対象に阪南市の自然（山・川・海）の環境美化啓発のポスターを募集し、作品の展示（市役所他）全作品を用いたカレンダーを作成し応募者や学校など関係機関に配布しています。小中高生からは好評を博しています。④毎年十月に尾崎小学校の校外学習支援として、男里川水辺の体験学習（川の勉強・防災・環境調査・生き物との触れ合い）と魚など生物の採捕と観察（見て・触れて・感じる命の大切さ）及び解説をしています。⑤毎年二月の第三土曜日十時～十二時（雨天中止）に男里川全域（阪南・泉南

市域）を対象に市民の皆さんにご協力を頂き一斉清掃活動を行っています。本年で三年目となり、ホタルの復活等の効果が出ています。（大阪府・阪南市・泉南市ABC委員会の共催）是非皆様のご参加を願います。

「問い合わせ？」会長 辻山正甫（〇九〇一八七七六、六〇五四）までお問い合わせください。

第14回「水辺の学校」 男里川で開催しました

体験学習を通じて、川のことを正しく理解し、川の生き物や命の大切さを学んでもらいました。

【開催日】 平成27年10月9日
【場所】 男里川菟砥橋上流左岸
【参加者】 尾崎小学校5年生 58人
【スタッフ】 男里川水系環境委員会 9名
 河川ボランティア 3名
 大阪府岸和田土木事務所 6名
 阪南市役所 6名

【プログラム】
 ①大雨時の対応について（防災学習）
 ②川と私たちの生活の関係について
 ③川の水質調査（バックテスト）
 ④生き物調査（網の使い方・採捕等）
 ⑤生物の解説と質問・ふれあい

◎最初に川の怖さについて勉強しました



◎川は私たちの生活にも関係あることがわかりました



釣りと私

釣りと私の出会いは、昭和二十六年（一九五一年）四月の小学校入学に始まる。私が入学した、堺のとある小学校の、すぐ脇にある小さなため池にある。何時も教室の窓から眺めていた池「池にはどんな魚がいるのか、水中はどうなっているのか」また池の上を飛んでいる「トンボや蝶」を何時も目で追いかけている悪ガキだった。ある日その池に、「二センチくらいの鯉の子がバタコ（オート三輪）の荷台から、放流されているのが、目に飛び込んできた。もう授業どころではない、その光景に引き付けで見入っていると、知らぬ間に先生が近づいてきて、頭をこづかれすごく叱られた。しかしながら私の頭の中は叱られたことより、あの鯉の子をどうすれば捕まえられるのかで駆け巡っていた。それまで全く釣りなどしたことのない私、毎日捕獲方法を模索していた。数日後母方の祖父の手伝いで、畑の野菜の倒れ防止の竹を結束するために使っていたタコ糸に目をつけ、これを釣り糸にしてあいつを釣れないかと考え、祖父に五〇メートル程もらい、母に内緒で詰め、いつもより早い時間

初めての鯉の子釣りの仕掛け作りに行錯誤した。先ずはその釣り糸にするタコ糸をまく「コマ」になるものを選び、頭を浮かんだのは「牛乳瓶」である。当時裕福な家庭の玄関に、空の牛乳瓶をよく見かけていたので、早朝にその瓶を5本せしめてきて、糸巻きとし、一〇メートルずつ巻いて五本の仕掛けを作ることにした。さて仕掛けに必要なものは、錘と針、針はよく海にアナを釣りに行っているおっさんにもらったのがある。錘にすべく適当な石を拾って来てタコ糸に結ぶのだが、なかなかうまくいかない、何か錘となるものはないかと、思案に思案を重ねていたがみつからなかった。ある日家の裏の広場で悪ガキたちと遊んでいるところに、送電線の鉄塔を建てているところがあって、そこを通ると地面に数個のインチのナットが落ちていたのが目に入った、それを錘として、針も仕掛けに結びつけ、一心仕掛けは完成した。翌朝登校前にミミズを掘って五本の仕掛けの牛乳瓶とをランドセルに、母に内緒で詰め、いつもより早い時間

に登校した。もちろんランドセルの中には、教科書やノートは一冊も入っていないのは当然であった。学校に着くとすぐ仕掛けを投入、1時間目終了後の休憩時間に仕掛けを上げるが駄目、二、三時間目も駄目、四時間目終了後にやっと一匹が、飛び上がって喜んだがその鯉を生かしておくのに、掃除用のバケツに水道水を入れ、そこで生かして、遅くなった給食をかきこんで、再度バケツの鯉を見に出るとびっくり、鯉はすでに虫の息、水にぶかぶか浮いていた。今思うと当時の水道水はカルキ濃度がとても高く魚を飼えるような水質ではなかったと思う。これが私の最初の釣りであったように思う。現在も当時のことが鮮明にのみがえってくる。現在七十一歳、ほとんど毎日釣りのことで頭がいっぱいの爺さんです。今年の釣り初めは一月一日から一週間の長崎県対馬への釣行でした。



《ご存知ですか》 ネットオークションを有効に活用しよう。

家の中の不要物を整理したいが、捨てるにはもったいないと考え、昔の趣味の本、切手やパソコンソフトなどをネットオークションに出品したところ、思いがけず高値がついて味をしめ、ネットオークションを楽しむようになりました。ただ、これはいけると見込んだものがだめで、がっかりすることもよくあります。また、使っていた

道具や器具が壊れた場合、同型の中古製品を安く手に入れることもできます。

出品物の皆が欲しがる程度と提示する価格の兼ね合いで決まります。特に趣味に関わる物やマニアックな希少品は思いのほか高値になることがあります。皆さんも不要物の整理しながら、ネットオークションを試してみたいかですか。 KAZU

この扉を開けると何処に続いているのだろうか。私は恐る恐る扉を開ける。本を読む時はドキドキしてページをめくる。私の場合、読書が何か求めれば絶対的な答えを与えてくれると思って読むのではない。ニーチェと聞いて皆さんは何を思い浮かべるだろう？ニーチェは世間的には哲学者、文献学者と呼ばれてい

る。晩年のニーチェは狂人としての最後を迎えている。著書「ツアラトウストラかく語りき」におけるニーチェ哲学の核は「超人思想」である。と言ってもその具体性は見えにくく抽象的に耳に響く。ここではどうやら「自己超克」といった意味あいのようなのである。フリードリヒ・ニーチェは時に私にとって怪物のよう

にも思える存在であり、彼の思想の先から何が生まれるのか、まるでパンドラの箱を開けるかのような好奇心に誘われる。一冊一冊に扉がある。

高橋 勇

私のおすすめ

短編よりも短い物語の中に、楽しい展開と意外な結末がある。星新一のSF物語。一冊の中にたくさんのお話が入っていて、読み出したら全巻読みたくなります！

私の一番のおススメは、『頭の大きなロボット』という本に入っている「破滅の時」という話です。とつぜん現れた、他の星からの来訪者。その人は、「このままだと地球は破滅する」と言って、死んでしまいます。残された地球人類は、戦争、公害、道義の乱れ、病気などをなくして色々備えました。そしてわく星を見たところ、

来てくれた宇宙人と同じ種類の人がいるわく星を発見しました。そこで意外な結末が・・・。

他にも「平和の神」や「宇宙をわが手に」などの十八編が収められています。



《児童書》

『かさ』太田 大八 / 著・絵 文研出版

E

絵本というのは、「絵と文があるもの」と思っていました。この本を初めて見たときびっくりしました。表紙と中表紙に、「かさ」とあるだけで、文はありません。アンデルセンの「絵のない絵本」と正反対の絵本です。でも、話は十分に分かります。その上、読み手と聞き手が自由に話をできます。

先日、図書館主催の「読みメン養成講座」で対象を孫と見立てて図書館で借りて読みました。家に帰

って、本棚にあった筈のこの本を捜しましたがありません。仕方なくまたこの本を購入しました。今度は、本当に近くに住む孫たちと読んでみたいと思ったからです。購入してから思い出しました。一年ほど前に、遠くに嫁いだ娘に、「この本を、子どもと読んだら楽しいよ。」と言って譲ったのでした。今度、娘に会ったら孫とどんな話をしたのか聞いてみようと思っています。

橋本 一郎

図書館でボランティアしませんか？

～平成28年度～

図書館フレンズ募集

老後・退職後に何か社会の役に立ちたいと思っている方、もう子どもの手も離れて、時間があるから何かしたいという方、図書館フレンズとして活動してみませんか？はじめての方も大歓迎。誰でもできる簡単な作業から、才能を生かせる作業までいろいろあります。

主な作業は、返却本を本棚・書庫に戻す作業、本の修理・清拭・装備、児童コーナーのコルクボードへの装飾作成、リサイクル関連、広報活動、生け花等環境整備です。詳しい作業内容や時間は、「図書館フレンズ作業内容」のチラシをご覧ください。

下記の説明会後に、登録するかどうか決めていただけますので、興味をもたれた方は、まず説明会への参加を申し込んでください。

場 所 ・ ソフトホール2階・祝町見室

申 込 期 間 ： 3月1日(火)～3月27日(日) 開館時間中 (電話申込可)

- *無償のボランティアです。交通費等の支給はありません。
- *ボランティア保険加入予定です。
- *この説明会は、新規の方（阪南市に在住・在勤・在学の方）が対象です。
- *図書館フレンズには、この募集期間以外にも随時加入できます。思い立った時にお声をかけてください。個別にご説明いたします。

お問い合わせは
阪南市立図書館
電話 072-471-9000
図書館フレンズ担当まで

図書館フレンズ活動内容 ～こんな作業です。誰でもできます！

その1 配架

活動日：全ての開館日の9時～10時。

一番ご自分の都合に合わせてやすい作業です。

「配架」とは、返却された本や雑誌を図書館内の書棚に戻す作業です。図書館にある本は、内容によって分類され（日本十進分類法による）、分類番号や記号は背ラベルに印字されています。それぞれの本はこの分類番号・記号による定位置が決まっており、その場所に本を戻すことは、図書館では非常に重要な作業です。分類番号・記号はその本の住所のようなもので、正しい場所がない本は、迷子の状態です。図書館には約22万冊の本がありますから、一旦迷子になるとなかなか見つかりません。配架が早く終わった時は、「面揃え」(つらぞろ)という、本を棚の一番前に揃える作業をしていただきます。面を揃えることにより、本のタイトルがとても見やすくなり、本を探しやすくなります。

いつも配架に来てくださる図書館フレンズさんは、「朝、配架に来ることでガラガラせず決まりがついていいのよ。図書館フレンズが私の生きがいになっています。」と嬉しいことを言ってくださいます。皆様も、よろしければお手伝いください